

【いたち川】

流路長9.0km, 流域面積14km² 横浜自然観察の森付近に源を發し(源流1)大船駅北1km 付近で柏尾川に流入する境川の支々川。2級河川。二つの主流と八本以上の支流からなり、橋数57。

名の由来は、鎌倉街道、鎌倉の出入り口の宿駅であり、出立点としての出立(いでたち)川の音が変化したものとされている。

「𪛗」は、なぜか辞書や、JIS漢字表の中にもなく、意味不明の字としている。動物のイタチは「鼬」。

(源流2: 瀬上池とその上流)。

【上郷市民の森】 (開園: 昭和47年4月)

栄区の東部。住宅地の中央にぼこりとお椀を伏せたような緑の小山の公園。南端の見晴台広場は180度の展望が可能で、瀬上・氷取沢市民の森、横浜自然観察の森の連なりがよく見える。

面積: 4.7ha, 散策路延長: 1.3km, 標高: 20 ~ 90m

【光明寺】 (京都西本願寺派)

本尊は阿弥陀如来。執権北条時頼の母、松下禅尼が隠居したとも伝えられ、幕府滅亡の際火災にあい、城山橋北側にあった「白山」あたりから現在の地に移る。戦国時代にはしばしば小田原北条氏の弾圧を受けた。

【昇龍橋】

いたち川小川アメニティの中ほどに架かる橋。横浜では珍しい石造の眼鏡橋。石造としては横浜市内最古。栄区の解説では「橋本体は水成岩の鎌倉石(今泉石)欄干部分は御影石。欄干には大正14年9月と記されているが、橋本体は構造・材質が違っており明治30年代と考えられる」とある。

【横浜自然観察の森】 (面積: 45.3ha)

都市近郊の市民が自然にふれあえるよう、県と環境庁の助成により1986年に開園した、市の施設。起伏のある丘陵地で、雑木林、草地・広場、池、湿地、溪流があり、散策しながら自然観察を楽しむことができる。市より委託されて(財)日本野鳥の会のレンジャーが常駐。自然観察センターは、活動や情報提供の拠点で、ここを起点とした4つのネイチャートレイルがあり、観察小屋や野外解説板が設置されている。